



宮崎県産最高級マンゴー「太陽のタマゴ」が出荷解禁 宮崎県知事によるトップセールスを開催！

宮崎県産マンゴー「太陽のタマゴ」のトップセールス

- 期日：4月16日(月)
- 場所：大田市場 東京青果(株)
- 主催：JA宮崎経済連
- 内容：宮崎県産マンゴー「太陽のタマゴ」の紹介や試食宣伝 等

「太陽のタマゴ」、ブランド誕生から20周年！

JA 宮崎経済連は、宮崎県産最高級マンゴー「太陽のタマゴ」の出荷解禁に合わせて、試食宣伝会を開催しました。また、今年は「太陽のタマゴ」のブランドが誕生してから20周年ということで、宮崎県の河野知事とJA 宮崎経済連の壹岐副会長によるトップセールスも行われました。

「太陽のタマゴ」は、1998年により広く消費者に認知されることや輸出品との差別化、栽培技術向上等を目的として誕生したブランドで、宮崎県産完熟マンゴーの中でも「糖度15度以上、重さ350g以上」等の厳しい基準をクリアした最高級品となります。

今年はブランド誕生から20周年ということで、出荷箱には「太陽のタマゴ20周年」をアピールするシールが貼られており、ブランドのPRが行われていました。

「太陽のタマゴ」は市場での人気も高く、試食宣伝が開始されると、会場はマンゴーのトロピカルな香りに包まれると共に、多くの市場関係者で賑わいを見せました。また、職員がマンゴーの被り物を被り、「太陽のタマゴ」を始めとする宮崎県産完熟マンゴーのPRを行っていました。

出荷順調で「母の日」ギフトの主力商材に！

都中央でのマンゴー入荷量は、上位5産地で全体の93%を占めており、内訳は1位が宮崎県(48%)、2位が沖縄県(28%)、3位がメキシコ(11%)、4位がタイ(4%)、5位が鹿児島県(2%)となっています(H29現在)。

国産マンゴーの出荷は、4月～7月は宮崎県、7月～9月は沖縄県を中心に安定した出荷が行われています。今年については、宮崎県では3月の低温で生育がやや遅れたものの、生産者のしっかりとした管理と4月以降の良好な天候によって順調な出荷が行われており、「母の日」ギフトの主力商材として強い引き合いが見込まれています。



記念シールで20周年をPR



試食宣伝会の様子



知事によるトップセールスの様子

